

片山中「円形校舎」解体へ

片山中「円形校舎」解体へ

吳市教委 63年完成 耐震性低く老朽化

吳・東広島

吳市教委は本年度、「円形校舎」と呼ばれ地域に親しまれた吳市の片山中のユニークな校舎を解体する。耐震性が低く、老朽化も進んでいた。計画では解体後、新たな校舎を建設する。(浜村満大)

卒業生や住民に来月開放

市教委学校施設課には1963年に完成し延べ約2600平方メートル、円筒状の校舎。鉄筋4階建てで、



吳市教委が解体する方針を固めた片山中の校舎。「円形校舎」と呼ばれ親しまれていた

4階を体育館として使っていた。

計画では、今年9月～2018年3月に解体する。解体費は約1億2千万円。新校舎は19年度の利用開始を目指す。

片山中の卒業生でインテリアデザイナーの



中本尋之さん(38)は「1年生の時に円形校舎で過ごし、原風景として記憶に残っている。なくなるのは寂しい」と話している。

市教委などによると、吳市内には現在、円形校舎が片山中と港町小にある。「狭い土地を有効活用できる」などの理由から円形になったとされる。かつて阿賀小も円形校舎だったが、既に取り壊されていた。

解体に先立って、片山中は7月、「さよなら円形校舎」と題した行事を開く。卒業生や地元住民たちに校舎を開放。吳市と広島市を舞台にしたアニメ映画「この世界の片隅に」の鑑賞会などを検討している。

吳支社 ☎088233(22)5525 FAX(25)4817
東広島総局 ☎0882(422)2660 FAX(420)0124
竹原支局 ☎08846(22)2393 FAX(23)0027
江田島支局 ☎08823(42)0213 FAX(40)0008

6月27日(火) 中国新聞(朝刊)より

※中国新聞社の許諾を得て転載しております※

